

**新講座**

自信を持ってリーダーシップを發揮する 女性リーダーとしての第一歩

開催日時	2025年5月27日(火) 9:30 ~ 16:30 (受付開始は開講の30分前を目安とします)
会 場	富山：北陸経済研究所(4Fセミナールーム) + Zoom配信

セミナーのねらい

すっかり定着した感のある女性活躍推進ですが、期待通りに進んでいないのが現状です。企業として、女性社員の育成、とりわけ部下や後輩を率いて活躍する「女性リーダー」をどう育成するか、課題はまだまだ山積しています。また、女性社員自身も、「ロールモデルとなる先輩がいない」「相談できる相手がいない」「今の自分のやり方で本当にいいのわからない」などの悩みや不安を抱えているケースもみられます。

本セミナーでは、自らの強みを活かしつつ、リーダーシップを發揮し、部下や後輩をまとめ、成果を上げることのできる女性リーダーになる第一歩を踏み出していくために、必要な心構えとスキルを学びます。同じような環境にある他社の女性社員との交流を通じ、悩みや不安が解消され、自信と前向きなパワーが得られるはずです。女性リーダーとして活躍を期待されている全ての方にご参加をおすすめします。

講師

株式会社 Y'sオーダー 代表取締役 ふじの ゆみ 藤野 祐美 氏



オーストラリアBOND大学大学院経営学修士。ミノルタカメラ(現コニカミノルタ)、P&G人事部勤務を経て、世界最大の水産飼料会社ニュートレコ社の日本法人立ち上げに参画。更に関連会社2社を立ち上げ、取締役に就任。アジア太平洋地域人事統括として、組織・人材開発に従事。独立後、企業立ち上げからマネジメントまでの経験をもとに、グローバルリーダーから女性リーダー育成を中心 に人材開発分野にてコンサルティング業務を展開。

【資格】MBA、産業カウンセラー、心理相談員、キャリアコンサルティング技能士2級、メンタルヘルスマネジメントマスター合格等。
【著書】『上司取扱説明書』(同友館)、『上司は仕事を教えるな』(PHP研究所)等。

セミナーの主な内容

- 今までと何が変わるの？リーダーになるということ
 - 女性リーダーが、本当に求められている？！
 - リーダーになれる人・なれない人
 - あなたのリーダー適性をチェック！
- 男性リーダーは、お手本にならない？女性リーダーならではの心構え
 - 「男性リーダー」と「女性リーダー」の違いとは？
 - 女性リーダーが組織にもたらすもの
 - 女性リーダーだからこそ、できること・できなこと
- そもそもリーダーとは?
 - リーダーとリーダーシップ
 - リーダーシップとマネジメントの違い
 - 進化するリーダーの形
 - オンライン時代のリーダーとは
- まずは身につけたい！女性リーダーの「5つの要素」
 - 要素 1: ゴールを設定する
 - 要素 2: メンバーを動機づける
 - 要素 3: 信頼関係を築く
 - 要素 4: 問題を発見し解決する
 - 要素 5: 結果を出し、活かす
- リーダーは部下・後輩を迷子にしない！部下・後輩の導き方
 - まずは行き先！ビジョンを掲げる
 - ビジョンづくりの「3つのステップ」
- チームは1つにまとまっていますか？チームをマネジメントするために
 - マネジメントのために必要なこと
 - 集団からチームへ
 - なぜ、あのチームは結果を出せるのか？
- 強いチームの特徴：あなたの部下・後輩は、自律していますか？
 - 部下・後輩の自律のために
 - 自律メンバーと他律メンバーの違い
 - 自律メンバーがつくる強いチーム
- 部下・後輩のやる気はあなた次第！モチベーションに働きかける
 - そもそもモチベーションとは？
 - モチベーションを上げるもの・下げるもの
 - こんな時どうする？相手に応じたモチベーションへの働きかけ方
- 「あなたで良かった！」といわれるリーダーであるために

■参加申込方法

北陸経済研究所 HP の「セミナー・講演会」⇒ 各セミナー ⇒ 「Web でのお申込み」

■参加費(税込)

会 員 1名	19,800円
非会員 1名	39,600円

*賛助会員にお申込みいただければ、会員価格でご受講いただけます。

お申込み・詳細はこちらから☞



■お申込みにあたって

※北陸経済研究所HPの「セミナー・講演会」の「お申し込みの前に必ずご確認ください」をご一読ください。

- キャンセルのお申し出は5営業日前までにお願いいたします。以降のキャンセルはご返金致しかねますので、予めご了承ください。ただし当研究所主催の別セミナーへの振り替え受講のお申込みをお受けいたします。
- 詳細は受講証、受講案内メールにてご確認ください。
- 都合により開催の中止、または延期させていただく場合がございます。



主 催 一般財団法人 北陸経済研究所